

ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

2018 Round.3 AUTOPOLIS



ST600
#71 Daiki Uehara

JP250
#71 Kiyoshi Akama

HONDA

HRC

BRIDGESTONE

MUSASHI

Arai
HELMET

TAJIMA
TAMAMOTO

NGK
SPARK PLUGS

eif

TGK

ACTIVE
Rev and Ride It!

RK
TAKASAGO CHAIN

SUNSTAR

KRS

SIGNET

■ Mistresa RT HARC-PRO. Media Information

2018 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第3戦
オートポリススーパー 2&4 レース

大分県・オートポリス (1周=4.674km)

観客動員数：8,300人 (2日間合計)



MFJ CUP JP250 国際クラス
#71 赤間 清

マシン：Honda CBR250RR タイヤ：DUNLOP

予選：15 番手 (タイム：2分 11 秒 268)

決勝：11 位 (国際クラス 4 位)



昭和電機では全日本ロードレースをより一層盛り上げるべくチームやメーカー、クラスを越えて各クラスのゼッケンナンバーが「71」のライダーとチームを応援する 71 プロジェクトを発足いたしました。

71 プロジェクトでは、応援ツアーの開催や公式プログラムへの広報記載、応援グッズの配布、ピットウォーク時のスタンプラリーなど、様々な企画を計画しております。各クラスで#71 を付けたチーム・ライダーのご声援をよろしくお願いたします！

<http://mistresa-71.com>



JSB1000
Team KAGAYAMA
#71 加賀山 就臣 選手

J-GP2
TONE RT SYNCEDGE4413
#71 三原 壮紫 選手

J-GP3
Team P.MU 7C MIKUNI
#71 小室 旭 選手

ST600
Mistresa RT HARC-PRO.
#71 上原 大輝 選手

JP250
Mistresa RT HARC-PRO.
#71 赤間 清 選手

ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

2018 Round.3 AUTOPOLIS

JP250 #71 Kiyoshi Akama



Mistresa RT
HARC-PRO

JP250 2 戦目で表彰台に迫るクラス 4 位

全日本ロードレース選手権は、シリーズ第 3 戦を大分県・オートポリスで迎えた。第 2 戦、第 3 戦とスーパーフォーミュラと併催の 2&4 レース。全日本は JSB1000 クラスのみの開催となっていたが、今回は、MFJ CUP JP250 も行われ、Mistresa RT HARC-PRO. の赤間 清が 2018 MFJ CUP JP250 選手権第 2 戦にエントリーした。



JP250 #71 Kiyoshi Akama

金曜日、土曜日と快晴に恵まれ、最高のコンディションで走ることができた JP250。日曜日は、一気に天気が崩れただけに、JP250 のライダーは、今回はラッキーだった。土曜日の 9 時 20 分から 20 分回で行われた公式予選では、前日の走行後にデータを見たところ、最終セクターの走り方に問題があることが分かったため、そこを改善しタイムを上げて行き 15 番手となる。

事前合同テストはなく、金曜日の 2 本のフリー走行で、ある程度まとめなければ、土曜日の公式予選、そして決勝レースでの結果が左右される。赤間は、まずチームメイトであり、昨年 JP250 国内チャンピオンとなった上原大輝のデータをもとに走り出すものの、うまく攻めきれずにいたため、マシンをアジャストしながら、JP250 で初めて走るオートポリスを攻略して行く。結果的に、このときの変更が裏目に出ることになる。

そして 12 周で争われた決勝レースを迎える。マシンセッティングは、予選のまま変更はなし。前戦では、オープニングラップで転倒を喫しているだけに、今回は、特に慎重に走って行く。サードグループでの 4 台の集団となり、その最後尾から他のライダーの走りを見ながらペースをつかむと、最終コーナーから長いホームストレートで 1 台、また 1 台とかわして行くと、その集団を引き離して総合 11 位でゴール。国際クラスでは 4 位という結果となった。



■赤間 清コメント

「開幕戦で転倒していたので、今回は絶対に転ばずにレースを走り切ることが最低限の目標でしたが、慎重になり過ぎて攻めきれない部分があったことは反省点です。決勝になって、他車との競り合いの中で調子を上げて行き、気付いたこともあったので、次回は、もっと早い段階でペースを上げて行けるようにしたいですね」



このリリースのお問い合わせは
昭和電機株式会社 営業推進部 sales@showadenki.co.jp